

一般社団法人全日本機密文書裁断協会 第十期（2023年度）事業計画【案】

方針

会の知名度向上および裁断サービスの普及に取り組むため、第十期（2023年度）の広報活動は、昨年度に実施しアクセス解析の検証で効果を得た「リスティング広告」の継続を主に展開を図ります。本施策は、裁断サービスの見込ユーザーや利用意欲が高いユーザーへのアプローチ手法として、全国のブロック会ごとに予算上限を按分し、本会ホームページ（以下、「HP」という。）へのアクセス数アップにより集客効果を高め、会員各社HPへの送客率向上を目指します。その他の施策として、HPに会員各社が提供する3つのサービスメニューに加え、「機密BOX回収サービス（案）」・「メディア対応（案）」等のアイコン追加表示、会員各位にご協力をいただきHPの人気ページである「会員ブログ」は、「本会LINE公式アカウント」に連携し新しいテーマを題材に4巡目を計画、「Googleマイビジネス」・「Yahoo!プレイス」・「ジモティ」等の集客強化策の運用を継続、情報の拡散力と直接ユーザーにPRできる「プレスリリース」を活用し、裁断サービスの普及推進並びに会の知名度向上に取り組みます。

業務品質向上委員会は、これまで本委員会で展開してきた【抹消処理士】の「更新制度」・「ランクアップ制度」等の制度制定や、「実務事例」・「顧客満足度調査」等の事業を積み上げ、「業務品質向上の手引き」のブラッシュアップと協会HPを改修し【抹消処理士】の教育・実践資料として会員各位によりご活用いただけるよう、情報共有の充実化を図ってまいります。

研修勉強会は、前年度に実施し会員各社より好評を得た「Webグループディスカッション」を参考に、グループディスカッションを仮の計画案として、研修勉強委員の一新により検討してまいります。

これまで実施してきた「表彰制度」・「ブロック活動助成金制度」、環境保護活動等として「カーボンオフセット」の各種事業を継続し、機密文書裁断に関する事業の振興と、社会への貢献を推進いたします。

本会が一般社団法人化し第10期を迎えるにあたり、周年事業実行委員会を立ち上げ、第10期総会を周年記念事業として計画いたします。今年度も、本会の目的である、紙材等の資源が有効に再利用される循環型社会の実現及び、市場へ機密抹消の必要性和環境配慮の取り組みの必要性を訴求し、情報の抹消を依頼する方々の信頼に応えられる全国組織として、会員・協会の活性化を図ります。

1. 裁断業務の品質対策

（1）定例研修勉強会の実施

機密文書の裁断事業に求められる知識と実務能力の向上の場として、取り巻く環境や地域的な特性等の実践的な内容に関する実務者を対象とした研修勉強会を計画いたします。また、会員間の活発な意見・情報交換の場として、会員間の更なるネットワーク構築を図ります。

（2）表彰制度

情報漏洩防止と、環境に対する意識向上及び取り組みの推進を目的に、会の発展に寄与もしくは社会貢献活動に積極的に取り組んでいる会員企業の表彰を行います。

（3）業務品質向上委員会の運営

今年度の業務品質向上委員会は、本会が一般社団法人化し第10期を迎えるにあたり、これまで本委員会で展開してきた【抹消処理士】の「更新制度」・「ランクアップ制度」等の制度制定や、「実務事例」・「顧客満足度調査」等の事業を積み上げ、「業務品質向上の手引き」のブラッシュアップと協会HPを改修し【抹消処理士】の教育・実践資料として会員各位によりご活用いただけるよう、情報共有の充実化を図ってまいります。有益な情報を協会全体で共有し、確かな「技術」「品質」を提供することにより、市場に選ばれる本会「裁断サービス」のブランド力強化を目指します。

（４）会員企業間の連携強化

会員企業間の連携強化を図るため、今年度もブロック活動助成金制度を継続いたします。前年度と同様、1ブロック会の助成金上限額 10万円を原則としますが、地域展示会の出展等による「会の知名度向上」および「裁断サービスの普及」に取り組むブロック活動費が10万円を超える場合については、申請内容を理事会で審議の上、賛否を決定することとします。会の情報交換や交流を深めることで、文書裁断サービスの全国組織として、その連携機能を最大限に活かし、サービスの品質向上と本会更には業界の活性化に結び付ける。

2. 広報宣伝活動

今年度の広報活動は、昨年度に事業展開しアクセス解析の検証で効果を得た「リスティング広告」継続を主に展開を図ります。本施策は、裁断サービスの見込ユーザーや利用意欲が高いユーザーへのアプローチ手法として、全国のブロック会ごとに予算上限を按分し、本会ホームページへのアクセス数アップにより集客効果を高め、会員各社HPへの送客率向上を目指します。その他の施策として、HPに会員各社が提供する3つのサービスメニューに加え、「機密BOX回収サービス（案）」・「メディア対応（案）」等のアイコン追加表示、会員各位にご協力をいただきHPの人気ページである「会員ブログ」は「本会LINE公式アカウント」と連携し新しいテーマを題材に4巡目を計画、「Googleマイビジネス」・「Yahoo!プレイス」・「ジモティ」等の集客強化策の運用を継続、情報の拡散力と直接ユーザーにPRできる「プレスリリース」を活用、本事業展開により会員各社への送客率、問い合わせ件数を向上させ、裁断サービスの普及推進並びに会の知名度向上に取り組んでまいります。

3. 組織力の強化

組織の充実・強化を図るため、賛助会員制度を活用し、協会事業の目的に賛同し事業に協力・支援をいただける企業に対して全会員が加入推進に努めます。

4. 10周年記念事業を計画

本会が一般社団法人化し第10期を迎えるにあたり、第7期から第10期まで積立計上しております予算にて、第10期総会を周年記念事業として計画いたします。本事業推進のため周年記念事業実行委員会を立ち上げ、東京会場を候補地としNew環境展の日程に合わせ検討を重ねてまいります。

5. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

（１）文書リサイクルの促進

資源保護の観点から、文書裁断サービスの必要性を訴求し、事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し、循環型社会の実現に寄与します。

（２）カーボンオフセット事業

機密文書の裁断サービスは、ご利用の際のエネルギー消費によって、二酸化炭素がやむなく排出されてしまうため、「カーボンオフセット」に取り組み、二酸化炭素をオフセットすることで、より環境に配慮した安心・確実なサービスを提供いたします。また、今年度より音楽家の坂本龍一氏（*）が代表を務める森林保護団体 一般社団法人 more trees（モア・トゥリーズ）が提供するサービス「法人サポーター制度」を活用し、予算上限を設定のうえ HP のアクセス数に連動したカーボンオフセットの取り組みをはじめ、年間賛助会員として外部への訴求と、豊かな森を後世に残す社会貢献活動を支援してまいります。

（*）2023年3月28日逝去されました